



家庭教育コラム

令和8年7月発行

すべての教育の出発点は「家庭教育」であるといわれています。このコラムは、家庭教育に役立つちょっとしたヒントを専門家等からお話を伺いお届けするものです。家庭教育の一助として参考にいただければ幸いです。

テーマ

子どもたちを犯罪・ネット トラブルから守る！ ～家庭でできる防犯対策～



夏休みは日頃よりも、スマホやネットに触れる時間が長くなる傾向にあります。子どもたちが、スマホやネットを介した犯罪被害やトラブルに遭わないようにするためには、どのようなことが必要なのでしょう。そこで今回は家庭でできる対策について、株式会社教育ネット ネットリテラシーアドバイザー 池本香衣さんにお伺いしました。



「うますぎる話」を疑う力を育てる

近年問題となっている「闇バイト」は、SNS上の「高収入」「即日払い」「学生OK」といった募集だけでなく、「物を受け取るだけ」「簡単な仕事」などと先輩や友人から紹介されるケースもあります。

県内でも、相模原市の高校生が栃木県で発生した強盗殺人事件に関与したとして逮捕される事案がありました。

一度、名前や住所などの個人情報を伝えると、「家族に危害を加える」などと脅され、犯罪に加担させられる事例もあります。

しかし、違和感を覚えた時点で相談すれば引き返すことができます。「楽に稼げる話は疑うこと」「困ったらすぐ相談すること」に加え、「断れなくなっても、警察に相談すれば自分や家族を守ってもらえること」も、ぜひ家庭で伝えましょう。



SNSの「秘密だよ」は危険のサイン

2025年、SNSをきっかけに犯罪被害に遭った18歳未満の子どもの数は1,566人にのぼりました。特に小学生の被害は10年前の約4倍に増えています。

オンラインゲームや「推し活」で生まれる親近感を利用し、「二人だけの秘密だよ」「お家の人には内緒」と子どもの信頼につけ込む手口もあります。

下着姿や裸の写真は撮らない・送らない、名前や学校など個人が特定される情報は実際に会ったことのない相手には伝えないことを、繰り返し伝えましょう。



友達とのオンライントラブル

2025年に当社が実施したアンケートでは、LINEなどで「不安な思いや嫌な思いをしたことがある」と回答した中学生は21%でした。オンラインでは相手の表情や声が伝わらないため、「既読なのに返事がない」「グループから外された」「スクリーンショットで会話が拡散されてしまった」など、悪気なくても人間関係のトラブルにつながる場合があります。

LINEなどで嫌な思いをする子どもは決して珍しくありません。だからこそ、「困ったことがあっても責めないよ」「まずは話を聞かせてね」という姿勢を日頃から示しておくことが、子どもの早めの相談につながります。小さな悩みのうちに相談できることが、大きなトラブルを防ぐ第一歩になります。



困ったときは一人で抱え込まない

トラブルは、早めに相談することで被害の拡大を防げることがあります。子どもには「困ったら一緒に考えよう」「話してくれてありがとう」と伝え、相談しやすい家庭の雰囲気をつくりましょう。

万が一トラブルが起きた場合は、一人で抱え込まず相談しましょう。犯罪被害は警察、誹謗中傷など人権侵害は法務局、インターネット上の違法・有害情報は違法・有害情報相談センターなど、内容に応じた相談窓口があります。相談先を知っておくことも、大切な備えです。

読者へのメッセージ

保護者も手口や誘い文句を知り、「もし自分だったらどうする？」と家庭で話し合ってみましょう。もし相談されたら、責める前に「話してくれてありがとう。一緒に考えよう」と伝えることが、子どもを守る第一歩になります。

今回は「安心・安全・健康的にスマホ・ネットと付き合うコツ」をテーマとしたコラムをお届けします。

池本 香衣 k a i i k e m o t o

株式会社 教育ネット ネットリテラシーアドバイザー



関東を中心に情報モラルや情報セキュリティに関し、教職員・保護者向けの講座や児童生徒向けの出張授業や支援を実施している。神奈川県においては、200校以上に対して情報モラルの支援を展開している。



[アンケートはこちら](#)

発行 座間市教育委員会教育部生涯学習課

電話 046-252-8472（直通）

FAX 046-252-4311

協力 ざまとーくの会



ざまと一くのが、一足先にコラムを読んだ感想をつぶやきます♪



ペイ

小学生の犯罪被害者が 10 年前の 4 倍になっていることに驚きました。

今や乳幼児期からスマホやネットが身近にあるため、スマホを持つ前から子どもと SNS やネットについて「こんなことがあるんだって～」と事例を話題に出して対話することで普段から話しやすい関係づくりをしていきたいです。



M & M

ネット犯罪の手口はどんどん巧妙化していて自分や家族がいつ当事者になってもおかしくないんだという危機感を感じます。息子にはもしトラブルになっても絶対に 1 人で抱え込まずにすぐ相談するようにと言っていますが、何より相談してもらえ環境を家族内で作っておくことが大切だと思いました。



さちこ

私自身、SNS を見ていて怪しい投稿や求人など見かけることがありますが、本物かどうか見分けるのは大人でさえ難しいと思います。闇バイトなど事件に関するニュースは息子とも一緒に見るようにして、事前に予備知識として頭に入れておくだけでも予防策になるのかなと思いました。

